

# SHIN CLUB 298

(株)辰 東京都渋谷区渋谷3-8-10 JS渋谷ビル5F

tel/03-3486-1570 fax/03-3486-1450



「萩原ビル」 撮影：アック東京

今月のトーク/monthly talk

## 年頭のご挨拶

あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、健やかに新たな年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

昨年は元日に発生した能登半島地震と羽田空港地上衝突事故など、衝撃的な出来事で幕を開けました。その後9月の豪雨による被害は復旧復興の足止めとなり、未だに大きな爪痕が残っています。1日も早く安心して生活できるようになることを切に願うばかりです。しかしながら明るいニュースとして、夏に開催されたパリオリンピック・パラリンピックでの選手達の活躍、ドジャース大谷選手の50-50達成とワールドシリーズ制覇は多くの人々を元気づけたのではないのでしょうか。

また日本経済の先行きは、内需を中心に底固い成長が続くと予測されていますが、内閣総理大臣とアメリカ大統領の交代があり、その動向・政策に世界経済は左右されるかもしれません。我々建設業界はというと、資材価格は落ち着いてきているものの、人手不足に伴う労務費の高騰は継続中であり、建設コストは高止まりとなっております。このような状況ですが、弊社は変わらず「こだわり建築」を追求し、皆様方に吟味して選んでいただけるような頼れる会社を目指し、精進してまいります。

昨年の10月、弊社は創業25周年を迎えました。更には今年3月に本誌「SHIN CLUB」は300号に到達します。創業以来欠かすことなく発行してこられたことは、全てのお客様、建築家の先生方のご支援の賜物であります。改めてここに感謝の意を表すとともに、今後とも変わらぬご愛顧を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

2025年(巳年) 元旦  
株式会社辰 代表取締役 岩本 健寿

萩原ビル



建物夕景。3階のライトが温かくビルを照らす

ルーバーが目を引く道玄坂の新スポット

「萩原ビル」は、間口が狭いが奥行きが長いのが特徴だ。そのなかで最も苦労した点は、階段室やエレベーターの場所を決めること。階段室やエレベーターはどうしても一定の面積が必要なため、配置によっては不揃いな間取りとなり、使い勝手に影響が出てしまう。そこで、社内でさまざまな検討を重ね、部屋はなるべく四角く使いやすい形状となるように努めた。部屋の形は建て主様からもご要望をいただいていたため、スタッフと協力しながら最適な配置を目指して設計していった。

こだわったポイントは、窓につけたルーバーだ。見栄えを良くする意図もあるが、オフィス内に直射日光が入らないようにする目的もある。また、萩原ビルの向かい側にもオフィスビルがあるため、窓越しに室内が見えないよう配慮した。窓からの視界を完全に遮るのではなく、ルーバーに角度をつけることで、道玄坂の北部が見渡せるように工夫。オフィスで過ごす人の快適さと、外から見たときの建物の「顔」をルーバーによって意識した。

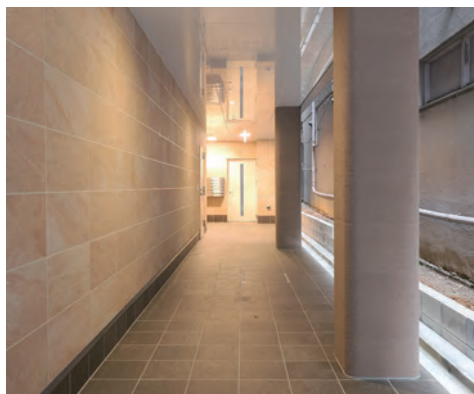
夜になると、3階のルーバーにつけたライトが温かくビルを照らす。ちょうど街を歩いている人の視界に入るくらいの高さだ。ルーバーは、避難用のバルコニーを目立たなくさせる効果もある。そのため、正面から見た際に、8割くらいの面積をルーバーが占めるように設計した。

間口の狭さや近隣の状況などを踏まえつつ、見栄えの良さと快適な室内を実現できたと考えている。

(のみぞ計画室 / 野溝茂氏 談)



建物全景。建物の「顔」をルーバーによって意識した



1階廊下



2階テナント内部



1階エレベーターホール



3階給湯室



3階テナント内部。ルーバーが向かいのビルとの視界を遮ってくれる



10階バルコニー。ルーバーに角度をつけ、陽の光の入り方を調節

所在地：東京都渋谷区円山町5-3  
 構造：S造  
 規模：地上10階  
 用途：店舗・事務所  
 設計：株式会社のみぞ計画室 / 野溝茂  
 竣工：2024年3月  
 施工担当：大平・中村  
 撮影：アック東京

# Shigeru Nomizo

今月は、「萩原ビル」の設計者である、のみぞ計画室の野溝茂氏にお話をうかがいました。

—長野県の高校を卒業後、東京に上京されたのですね。

野溝：私は長野県伊那市の出身で、3人兄弟の3番目。昔は長男が家を継ぎ、ほかの兄弟は自分で自分の道を見つけなさいという雰囲気がありました。そこまで厳格ではなかったのですが、私もいずれは家を出て、自分の将来は自ら切り開いていかなければならないと考えていたんですよ。そのため、高校まで長野で過ごした後、大学進学タイミングで上京しようと決意。東京の武蔵工業大学に進学し、建築について学びました。

大学卒業後は、縁あって宮城大学で常勤助手を務めることになりましたが、研究者の道に進むつもりはなかったため、2年間常勤助手を務めた後に非常勤助手に変更。そしてその後、小沢設計計画室に入所しました。いつかは自分で事務所を立ち上げたいという気持ちがあり、そのことを小沢設計計画室も理解してくれていたため、独立に必要ないろいろな業務も教えていただきましたね。

2005年に独立し、プライベートでは、ちょうど長男が生まれた年でした。子どもの成長とともに、私自身も成長しなければならないという思いで働いてきました。当初はわからないことだらけでしたが、小沢設計計画室からお客様を紹介してもらったり、周囲に助けられながらここまで乗り越えてきたと感じています。法人化したのは、2010年。当時は、東京都文京区の湯島や本郷に事務所を構えていましたが、約2年半前から埼玉県さいたま市に移転し、現在は、2名のスタッフとともに日々業務に邁進しています。

—建築家を目指したきっかけを教えてください。

野溝：学生のときから数学が好きで、とくに図形の問題を楽しみながら解いていました。ほかに、技術家庭科も好きでしたね。しかし、その時点では建築家を目指そうとは考えていませんでした。ターニングポイントとなったのは、友人の父親が建築家だという話を聞いたこと。親戚など身近な人に建築家がいなかったため、そのときに初めて「そのような職業があるのか」と知ったのです。

実は当時、寿司職人になりたいとも考えていました。寿司職人が建築家の2択で迷う日々（笑）。寿司職人を選んだ場合は、中学を卒業した後はすぐに弟子入りしなければならないだろう。しかし、憧れの高校野球にも挑戦してみたい……。悩んだあげく、最終的に野球の強豪校であった長野県伊那北高等学校に進学を決めました。そこから私の将来の夢は、建築家へと向かっていったのです。

現在でも、母校の野球部とはつながりがあり、関東地方のOB会の事務局長も務めています。OB会では、年に1回総会を開催し、毎年母校の野球部にボールを10ダース寄付する活動もおこなっています。過去には全国高等学校野球選手権大会にも出場した強豪校でしたが、私の時代は予選大会の初戦で敗退しました。今でもよく、OB会で話題になりますね。

—野溝さんの野球への熱が非常に伝わってきます。これまで携わってきたプロジェクトのなかで、印象に残っている建物はありますか。  
野溝：福島県双葉郡楢葉町にある複合商業施設「ここなら笑店街」の、新築工事設計と監理業務を担当したことが印象に残っています。こちらのプロジェクトは、株式会社のみぞ計画室が所属しているLLC URBAN（合同会社アーバン）の仲間とともに手がけたもの。一般的には、造成工事をして開発検査をおこなった後に建設が始まります。しかし、このときは同時に進めなければなりませんでした。



さらに、太陽光発電を設置する計画もあり、多くの企業が集まって作業を進めていきました。スーパーマーケットが入る予定もあったため、専門のショーケースを設置する部隊も参画。ピーク時には、土木工事の所長やゼネラルコントラクターのみなさん、太陽光発電の業者など、ものすごい人数が現場で働いていました。

人数が多くなればなるほど、調整は困難になり苦労もしましたが、ふと現場を見渡すと、それぞれのプロフェッショナルが集まり、同じゴールに向かって一歩一歩進んでいる光景が目飛び込んでくるんです。何かあったら相談して、解決策を一緒に見つけていく。その様子を見てみると、なんてさわやかな業界なのだろうと思いました。このような現場で働けることは、建築家の仕事の醍醐味ではないかと考えています。

—そのような出来事があったのです。最後に、仕事をするうえで大切にしていることを教えてください。

野溝：仕事を通じて、人々の役に立ちたいと常々思っています。そのため、案件は選り好みせず、自分ができていることに携わっていきたいと思います。実際に、これまでも建築設計だけではなく、東日本大震災の災害公営住宅における計画検討業務など、建設前の行政支援にかかわる調査業務も多数おこなってきました。経営者として事務所を運営するために、さまざまな仕事を受注していかねばならないという側面もありますが、やはり軸となっているのは「役に立つ仕事」をすること。これからも多くの方のお役に立てるような仕事に取り組んでいきたいと考えています。

—野溝さんの根底にあるものが、今の仕事にもつながっていることがわかりました。本日はありがとうございました。

## 野溝 茂（のみぞ しげる）

- 1972年 長野県伊那市生まれ
- 1991年 長野県伊那北高等学校 卒業
- 1995年 武蔵工業大学工学部 建築学科 卒業
- 1998年 東京芸術大学大学院美術研究課程 建築専攻 修了(修士:美術)
- 1995～1996年 武蔵工業大学工学部 建築学科 勤務(技術員:建築計画)
- 1998～2002年 宮城大学事業構想学部 デザイン情報学科 空間デザインコース 勤務
- 2002～2004年 株式会社小沢設計計画室 一級建築士事務所 勤務
- 2005～2010年 のみぞ計画室一級建築士事務所 主宰
- 2010年～ 株式会社のみぞ計画室 一級建築士事務所 代表取締役
- 1999年 社団法人 都市住宅学会 シンボルマークデザインコンペ入賞

TOPICS/INFORMATION

SHIN CLUB300号創刊記念 特別イベント「SHIN CLUB」を開催いたします

弊社創設翌年の春から毎月発行されている「SHIN CLUB」。建て主様、設計者の皆様と築き上げてきた本紙ですが、今年3月に創刊300号を迎えます。

それを記念して、この度特別イベントを開催いたします。イベントでは、25年間に及び発刊されてきた「SHIN CLUB」のバックナンバーのパネル展示と掲載作品をご紹介するスライドの放映、弊社で大変お世話になっている建築家をお招きした特別トークセッション、特別記念パーティ（ご招待制）など、辰の歴史とともに多くの作品を拝見できるイベントとなっています。

ゲストの建築家には、田邊曜氏（田邊曜建築設計事務所）・土屋毅氏（ツチヤタケシ建築事務所）・安藤耕作氏（ANDO Imagineering Group）をお招きし、代表の岩本を交えた4名にて、本イベントでしか聞けない特別トークを予定。同世代の4名ですが、設計・構造・施工それぞれの目線で見たこれからの建築業界について語ります。

パネル展示、特別トークセッションの入場は無料となっています。皆様のご来場、心よりお待ちしております。

【SHIN CLUB 300号創刊記念 特別パネル展示】

- 開催日：2025年3月13日（火）
  - 会場：TRUNK(HOTEL) CAT STREET（入場無料）  
東京都渋谷区神宮前 5-31
  - ・特別パネル展示 1階：ONDEN 12:00～16:30
  - ・特別トークセッション 1階：ONDEN 15:00～
  - ・記念パーティ（招待制）2階：MORI 16:30 受付
- お問合せ：03-3486-1570（辰本社 300号記念係）



**SHIN CLUB**

建築屋  
SHIN

創刊 300号記念  
特別パネル展示

2025.03.13 Thu. 12:00～16:30（特別対談 15:00～）  
会場：TRUNK(HOTEL) CAT STREET【ONDEN】  
東京都渋谷区神宮前 5-31  
特別対談ゲスト：田邊曜・土屋毅・安藤耕作

問い合わせ先：株式会社辰  
TEL: 03-3486-1570（辰本社 300号記念係）

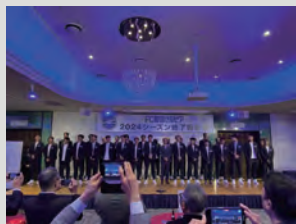
過去の作品が描かれた本イベントのポスター。新築現場などにも掲示予定

2024 FC 町田ゼルビア シーズン終了報告会  
— レイブラントホテル東京町田 —

弊社がパートナーシップを結んでいるFC町田ゼルビアの2024シーズン終了報告会に参席し、今シーズンを戦い抜いた選手たちや黒田剛監督らと、その功労を分かち合いながら来シーズンに向けての抱負を語り合いました。



J1 初昇格、初参戦にして3位という歴史的快挙を成し遂げたFC町田ゼルビア。J1クラブを相手に勝利を重ね、一時は単独首位に立つほどの快進撃を続ける姿に、多くの感動をもらいました。



選手や監督らにエールを送る

多くの企業様を招いての報告会

来シーズンは優勝する姿が見られるよう、弊社も力いっぱい応援していきます！

辰の公式 Instagram「shinstagram」が開設  
2025年1月1日（水）

弊社の公式 Instagram、その名も「shinstagram」が1月1日（水）より開設されました。

建設会社だからこそお届けできる工事の裏側や、社内のイベント、くすっと笑える日常の一コマなど、いままで見れなかった辰の「ありのまま」を見ることができコンテンツが盛りだくさんです！



shinstagram 公式ページ

また、SHIN CLUB には掲載していないお得な情報や見学会のご案内などをタイムリーにお届け。



Follow me!!

日常の隙間時間などにオススメです。是非フォロー下さい！

ID: @SHIN\_STAGRAM\_OFFICIAL\_1999

編集後記

・あけましておめでとうございます。本紙は3月で300号を迎えます。およそ25年間、一度も休刊せずに発刊してこられたことは容易なことではありません。それは、多くのお客様、建築家の皆様に支えられ、ご支援賜りました結果成し得る事が出来たのだと強く感じています。まだまだ未熟者ですが、これからも宜しく願い致します。

(株)辰 通信 Vol.298 発行日 2025年1月10日

編集人：本間夏来/土屋祐一郎 発行人：岩本健寿

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 3-8-10 JS 渋谷ビル 5F TEL:03-3486-1570

FAX:03-3486-1450 E-mail: daihyo@esna.co.jp URL:http://www.esna.co.jp



「SHIN CLUB」は WEB 上でもご覧いただけます。バックナンバーも PDF で掲載しています。スマホはこちらから →

